

(1) 2022年7月20日

あさやけだより

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

あさやけだより No. 507

発行. 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地

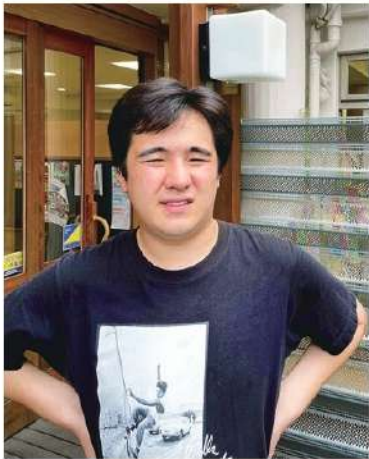
URL <http://www.asayake.or.jp>



あさやけアートフェスティバル2022 七月八日から十二日まで開催

古い櫻と三羽のふくろう ~老いてなを力の限り咲く櫻~

永倉 幹夫



廣野 一希さん
(あさやけ作業所)

布巾縫職人をめざして毎日頑張る

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



今回紹介する仲間は、あさやけ作業所のコアラ班で働く廣野一希さんです。コアラ班は、「きょうさんふきん」や「和ふきん」などふきんの縫製を行う作業班です。廣野さんは専用のミシンを使い、毎日二十四枚のふきんを縫い上げます。

縫い方や縫う位置など細かい工程があり、難しい作業ですが廣野さんは治具を上手に使いこなし、丁寧な縫い方でふきんを縫っています。

また、ふきんの注文が沢山入れば決めた枚数より多く縫うこともあります。それでも毎回丁寧にふきんを縫ってくれる姿はまるで職人のようです。

午前の仕事を終えてお昼ご飯を食べた後は、外の風を浴びたり日光浴をするこ

とでリフレッシュしてゆつくりと休み時間を過ごしています。それから午後の仕事へと臨むのです。

普段は仕事に真面目に取り組む廣野さんですが、実はとてもアグレッシブな一面もあります。それは、ポータス外出でトランポリンができる施設に出かけた時の事です。トランポリンに乗って遊ぶ廣野さんは、驚くほどのジャンプ力を見せて周りの人たちを驚かせました。楽しそうな表情を浮かべながらトランポリンを満喫している姿と、普段真面目に仕事に取り組む姿でとても良いギャップを見せてくれた出来事でした。

今日も廣野さんは良いふきんを作る為に、一所懸命ふきん作りに取り組んでいます。

●緊急募金などに取り組みます

昨年実施された「報酬改定」によって、ゆうやけ子どもクラブ(障害のある子どもの放課後活動。放課後等デイサービス)で運営)は昨年度、三事業所を合わせて、一六〇〇万円の赤字となりました。今年度は、一三〇〇万円の赤字を見込んでいます。そのため、今年度中には、職員の賃金が支払えなくなつて、活動が継続できなくなります。

これは、「報酬改定」によって、「基本報酬」が引き下げられたうえに、それまでであった「加算」の一部が削られて、特定の資格を持つ職員がいないと取得できない、新たな「加算」が設けられたからです。また、二十人定員(第一・第三子どもクラブ)は十人定員よりも、「基本報酬」が低く抑えられているため、赤字がいつそう膨らむからです。

現在、当面の運営資金を確保するために、緊急募金に取り組んでいます(二〇一万円。郵便振替口座「ゆうやけ支援プロジェクト実行委員会 〇〇一〇〇一六〇七三二〇九二)。ぜひ、ご協力ください。

また今後、市からの支援を求めて、他の事業所と共同で、

ゆうやけの灯を消すな!

—ご支援のお願い

ゆうやけ子どもクラブ代表
村岡 真治

市議会に請願をする予定です。署名集めにもご協力いただけると助かります。

●子どもと家族の生活の拠りどころ

ゆうやけ子どもクラブに通っている、ある自閉症の男児は、母親を叩くなどして暴れることがありました。コロナの時期、学校が急に休みになるなどして、環境が急変したため、激しい不安を抱えてしまったのでしよう。そうした葛藤を、親しい関係にある人におつつけてしまおうのだと思われました。

しかし、職員と一緒に、おやつを店を買ってきて、みんなに配ることをしていくうちに、落ち着いてきました。おやつを配るとき、みんなに「ありがどう」と言ってもらえることが、自分なりに役割を果たせる実感につながって、不安になりがちな心を支えたからだと考えられます。

ゆうやけ子どもクラブは、子どもや家族の生活や幸せの拠りどころとなっています。障害のある子どもが受け止められる社会は、誰にも優しい社会であるはずですが、「ゆうやけの灯を消すな!」。ぜひ、皆様のご支援をお願いいたします。



みてみてみて 絵の中に私がいるよ あさやけアートフェスティバル 2022 出品作品



久しぶりの外出のとりくみ

1日レクで動物園に

あさやけ鷹の台作業所

3年ぶりの一日レクで多摩動物公園に行きました。何日も前からどんな動物を見るか何を食べるかの話で盛り上がりました。

グループに分かれ事前に回り方を決めましたが、どのグループもさるやトラが大人気。昆虫園の蝶々エリアでは驚きながらもみんなで手をつないで楽しんでいました。家族や自分にお土産を買ったり、少し大きなぬいぐるみを買う人も。久しぶりの外出を思う存分楽しみました。



夏のボーナス外出で動物園に

あさやけ作業所

6月下旬に、みんなが楽しみ待っていたボーナスが支給されました。コロナ感染者数が減っていることもあり、今年は2年ぶりに買い物、トランポリン、動物園のグループに分かれてボーナス外出を実施しています。

7月8日に、待ちに待ったボーナス外出で、羽村動物公園へ行ってきました。

サングラスやカメラ、中には双眼鏡を持ってきているメンバーも。キリンやペンギン、お猿さんなどを目の前に、皆さんのやる気がほとぼしるようでした。当日は晴天でしたが、ちょうど日が陰っていて、過ごしやすい中での外出となりました。そんな中でも、ちょっと休憩

のひと時に、自動販売機へ一目散！夏の暑さが、甘い飲み物やお茶、アイスへ誘うようです。自動遊具のコーナーでは、アンパンマンのメリーゴーランドや、乗り物、バスのゲームなどで楽しむ様子も見られました。皆さん、思い思いに過ごされていました。



あさやけ風の作業所 菊地豊さん 作品紹介

あさやけアートフェスティバル

クラブの時間ではいつも絵画クラブに参加しており、必ず1作品を仕上げています。絵を描いているときの集中力はとても高く、時間を忘れてしまうほどです。そんな絶好調の菊地さんは絵画クラブの仲間の満場一致でクローズアップに選ばれました。今回のアートフェスティバルには5作品を出展しました。その作品の中でも菊地さんのおすすめは「いか」です。いかを題材にした作品は2点出展しています。どちらも絵画クラブに講師として来てくださる先生が持ってきた「いかの写真」をもとに描き上げました。ダイナミックないかの絵や生き生きとした作品をこれからも書き続けていきます。菊地さんの新作もお楽しみに！



いか



なのはな



オクラ・レンコン・カボチャ

東京都共同募金会の配分金による新しい送迎車両が整備されました

コロナ禍の大変な状況のなか変わらぬ助成をいただき、新車両を整備することができました。
NHK 歳末たすけあい募金及び東京都共同募金会様 ありがとうございました。

来年2023年10月に、あさやけ風の作業所は20周年を迎えます。コロナの状況は未だ予断を許しませんが、雨降って地固まるあさやけの実現に向かっていきます。

職員一同日々汗をかき努力を重ねていますが、まだまだ足らぬ至らぬあさやけです。

地域社会の皆様、より一層の力をあさやけにお貸し下さい。



あさやけの支援者及び地域の皆さまへ

わいわいバザール中止のお知らせ

あさやけ設立時から毎年、地域の皆さまのご協力を頂き開催してきた「KODAIRA わいわいバザール」ですが、今年も会場確保がむずかしいため開催を中止にすることにしました。毎年バザールには、品物を提供してくれている方、楽しみに待っている方など多くの皆様に協力を頂いており、中止は大変残念ですが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出してください。ご協力をよろしくお願い致します。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

6月の廃品回収の回収量は7,270kgでした。内訳は新聞4,880kg、雑誌・ダンボール2,390kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて89,970円でした

次回は9月16日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。

8月は廃品回収お休みとなります。